

お知らせ

【クラブ活性化セミナー】

4月27日・28日、横浜にて水野功 RI 理事およびクラブ活性化セミナー2026 実行委員会のもと、「クラブ活性化セミナー2026」が開催されました。
本セミナーは、『「会員がやめないクラブづくり」～みんなで語り合おう～』をテーマに実施されました。



プログラムでは、退会の要因を「コップの水」に例え、不満や孤立、忙しさ、居心地の悪さといった要素が少しずつ積み重なることで、最終的に「水があふれ」退会につながるという考え方が示されました。そして、退会防止においては「最後の一滴を止めること」ではなく、水が増えている状況に気づき、水があふれる前に対策することの重要性が強調されていました。

さらに、劇を通じて水が溜まる背景が具体的に表現され、参加者は楽しみながら理解を深めることができました。パネルディスカッションでは、多くの参加者が、「退会を考えたことがある」という中で、「私が退会しなかった理由」として、奉仕プロジェクトなどの活動を通じて、「自分の居場所」、「参加の意義」を見出したことなど、実際の経験を通じた意見交換が行われました。

本セミナーは、多様な視点からクラブ運営を見直す機会となり、参加者が得た気づきを各地区やクラブへ持ち帰り、今後の活動に活かしていくことが期待される内容となりました。

【AKS特別文化会 開催ご報告】

恒久基金／大口寄付アドバイザー(EMGA)
第1地域 森川 昭正
第2地域 福原 有一
第3地域 硯川 昭一

5月16日、ロータリー財団へのご理解とご支援を賜っておりますAKS(アーチ・クランフ・ソサエティ)の皆様への感謝をお伝えするとともに、ロータリー財団へのご寄付の意義を改めて共有する機会として、「AKS特別文化会」を開催いたしました。

当日は44名もの皆様にご参加いただき、東京・銀座の地にて、日本が誇る伝統文化とエグゼクティブ・シェフが紡ぐ美しい食文化が融合する、大変意義深い一日となりました。

[My ROTARY RIレポート](#)

[寄付送金明細書](#)

[寄付・認証の手引き](#)

[寄付総額 世界上位7ヶ国](#)

	2026年5月28日現在
アメリカ	\$ 182,844,448
インド	\$ 28,262,730
カナダ	\$ 19,544,465
韓国	\$ 17,685,562
台湾	\$ 17,615,735
日本	\$ 13,662,109
フィリピン	\$ 5,846,480

[2025-26年度 目標\(日本\)](#)

- ・年次基金：一人当たり 150 ドル
 - 年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成
 - EREY(年次基金への寄付)の推進
 - ポール・ハリス・ソサエティの推進(各地区+10名目標)
- ・ポリオプラス：一人当たり 30 ドル
 - ポリオプラス・ソサエティの推進(各地区50名目標)
- ・恒久基金：冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付：1万ドル以上のご寄付 100件、AKS10名増(日本全体)
- ・DDFの有効活用
- ・ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ・世界ポリオデー(WPD)の推進
- ・補助金活動の促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

[日本の状況](#)

冠名基金数 288
AKS会員数 74
PHS会員数 1753

まずは歌舞伎座にて「團菊祭五月大歌舞伎」を鑑賞いたしました。日本の伝統芸能である歌舞伎の迫力ある舞台、美しい所作、そして長い歴史の中で受け継がれてきた文化の重みを、参加者の皆様と共有できたことは、大きな喜びでございました。

その後は、資生堂本社ビルに場所を移し、交流会を開催いたしました。冒頭には、ホルガー・クナークTRF管理委員長からの感謝のメッセージが流れ、卓話には「歌舞伎座四方山話」と題して、松竹(株)フェロー 橋本芳孝様より、團菊祭の歴史背景、歌舞伎役者に関する大変興味深い卓話をいただき、単なる観劇にとどまらず、日本文化への理解をより深める学びの機会となりました。参加者同士の交流も大変活発で、ロータリーを通じて培われた友情と信頼の輪がさらに広がる時間となりました。



そして締めくくりとして、銀座の三つ星レストラン L'OSIER にてスペシャルディナーを堪能いたしました。洗練されたお料理と温かな歓談の中で、参加者の皆様からは「最高の文化交流会だった」「ぜひ毎年開催してほしい」といった大変ありがたいお言葉を数多く頂戴いたしました。

今回の会を通じ、改めて感じましたのは、ロータリー財団へのご支援は単なる寄付ではなく、「世界に持続可能な希望と平和を築くための志」であるということです。特に恒久基金は、その志を未来へつなぐ大切な基盤であり、次世代へ奉仕の灯を引き継ぐ力となります。

AKSの皆様には、日頃よりロータリー財団への多大なるご支援を賜っておりますことに、心より深く感謝申し上げます。皆様お一人おひとりのご厚意が、世界各地での教育支援、疾病予防、平和構築、地域社会の発展へと確かにつながっております。

今後も、皆様に感謝の気持ちをお伝えするとともに、ロータリーの使命と価値を共有できる機会を創出してまいりたいと考えております。そして、この尊い活動の輪がさらに広がり、新たなAKSメンバーの誕生につながることを心より願っております。

結びに、今回ご参加いただきましたすべての皆様に、改めて心より御礼申し上げます。引き続き、ロータリー財団ならびに恒久基金への温かいご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



【会員向けの新しいAIガイドライン】

人工知能(AI)は、ソーシャルメディアへの投稿作成から、資金調達案の提示、議事録の要約、ボランティア参加動向の分析に至るまで、ロータリークラブや会員にとって有用なツールとなります。

AIによってより効果的に活動できる一方、慎重に活用する必要があります。

ロータリーでは、会員の皆さまに AI を倫理的かつ責任を持ってご活用いただけるよう、『[AI のガイドライン\(会員向け\)](#)』と『[AI の使用に関するよくある質問](#)』の二つの資料を作成しました。これらの資料には、ロータリーにおける AI 活用のための主なベストプラクティスがまとめられています。続きは[こちら](#)

【スポGOMI@ ROTARY_2750 —— 1000人への挑戦】

寄稿者: 福元智子さん(第 2750 地区 スポ GOMI@ROTARY_2750 実行委員長、東京中央新ロータリークラブ会員)

「環境」を考える ～ スポ GOMI@ROTARY_2750 の起点

2026 年 6 月 6 日、1000 人でスポ GOMI を開催しよう。

この一言から、私たちの挑戦は始まりました。

それは、田中靖ガバナーから示された一つの問いでもありました。「ロータリーとして、どこまで本気で環境に取り組み、インパクトを生み出せるのか」

スポ GOMI とは「ゴミ拾い」と「スポーツ」をかけ合わせ、老若男女誰もが平等に競技できる日本発祥のスポーツです。しかし、それを 1000 人規模で実行することは容易ではありません。しかもスポ GOMI 20 年の歴史の中で史上最大級の開催規模。最初に感じたのは、「本当にできるのか」という戸惑いでした。

会場、そして集客はどうするか。協賛は集まるのか。運営側は持ちこたえられるのか…。ひとつひとつの課題が現実的な重みをもって立ちはだかりました。

それでも立ち止まりはしませんでした。この挑戦の本質は「人数」ではなく、「ロータリーとして社会にどう関わるか」という意思表示にあるからです。

続きは[こちら](#)

【ソゲリの丘の水音——支援の現場で得た学び】

寄稿者: 足利尚さん(多賀城 1300 ロータリー衛星クラブ会員)

パプアニューギニア。この国の名前を聞いて、どれほどの日本人がその生活や文化を思い浮かべることができるでしょうか。

南太平洋に浮かぶこの多島国家を訪れたのは、2021 年のこと。当時の私は、仙台ロータリークラブのサポートスタッフとして、ポートモレスビー郊外のソゲリ地区における「水と衛生」プロジェクトに参加しました。現地のボロコ・ロータリークラブと連携し、安全な水の供給と衛生意識の向上を目的としたこの活動は、私にとって忘れがたい経験となりました。

当時、私はまだロータリアンではなく、あくまで支援団体の一員としての参加でした。それでも、目の前にある課題と真摯に向き合い、地域の人々と共に取り組む中で、「奉仕」とは何か、「国際支援」とはどうあるべきかを深く学ぶことになりました。続きは[こちら](#)

【世界中で活躍する「行動人」】

世界中のプロジェクトをご紹介します。記事は[こちら](#)

リソース

<My ROTARY>

[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)

[ブランドリソースセンター](#)

[ロータリーの日本語フェイスブック](#)

[ロータリーボイス](#)

[ロータリーの YouTube](#)

[組織規定](#)

[管理委員会の決定](#)

[ロータリーのプライバシーの方針](#)

[ロータリーのラーニングセンターを活用しよう](#)

<資料>

[財務報告](#)

[年次報告\(オンライン版\)](#)

[ロータリー財団概要資料](#)

[ロータリー財団参照ガイド](#)

<各種レポート>

[My ROTARY](#) にログインをすると、「各種レポート」から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C、クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

認証や、各種レポートの閲覧方法等は、「[寄付・認証の手引き](#)」もご参照ください。

ポール・ハリス・フェロー

認証ポイント使用申請書の

送付先は、

RIJPNTRF@rotary.org です！

★最新のポール・ハリス・フェロー認証ポイント使用申請書をご利用ください(最下部の送付先を上記アドレスに更新済み)。

★kifu@rotary.org は寄付送金明細書の専用アドレスとなります。

【DDF繰り越し期限と再配分】

今年度5年目となる2020-21年度からの繰越DDFに残額のある地区は、2026年6月30日までに、配分先をロータリー財団に通知する必要があります。地区が資金の配分先をロータリー財団に通知しない場合、未使用のDDFは国際財団活動資金(WF)に充当されます。

参考: [未使用DDFの配分に関するよくある質問](#) [恒久基金への寄贈について](#)

<寄贈>

割合を指定して寄贈する場合: [2020-21 DDF 配分フォーム](#) (手続き中など金額を指定できない場合)

金額を指定して寄贈する場合: [DDF オンライン寄贈フォーム](#) または [DDF 寄贈のオプション](#)
(使用するDDFの年度を、2021または現年度から選択)

寄贈手続き後に送信される自動確認メールが3日以内に届かない場合は、share@rotary.org までご連絡ください。年度末には混雑が予想されるため、手続きが年度内に完了しない可能性もございます。できるだけお早目に手続きを完了するようにお願いします。

<グローバル補助金>

グローバル補助金に配分する場合、年度の指定はできず、現年度DDFがすべて使用された後、古い年度の繰越から順に使用されます。年度内に使用するには、6月30日までに承認を受ける必要があります。早めに提出されても承認が次年度になる場合もございますのでご注意ください。[グローバル補助金の審査](#)の記事もご参照ください。

寄付・認証

【年次基金寄付ゼロクラブ】

国内外で行われている、ロータリーの世界でよいことをするための活動をご支援いただき誠にありがとうございます。本年度も「年次基金寄付ゼロクラブ」ゼロの目標達成に向け、引き続きご協力をお願いいたします。

- 🌟 会員のお一人でも年次基金にご寄付いただいたロータリークラブは、ゼロクラブの対象外となります。
- 🌟 年次基金は、シェアだけでなくWF(World Fund/国際財団活動資金)や重点分野(Areas of Focus)も選択可能です。※「ロータリー災害救援基金」への寄付は対象外です。
- 🌟 ローターアクトクラブはカウントに含まれません。
- 🌟 銀行振り込みの場合、ご寄付が各種レポートに反映されるまで約3週間かかります。

2026年5月27日時点のレポートに基づく未達成クラブ数:181

全クラブ達成地区:第2570地区、第2760地区

<年次基金寄付ゼロクラブを確認しましょう！>

■ 確認手順

1. My ROTARY にログイン <https://my.rotary.org/ja>
2. 「会員・財団に関するレポート」をクリック
3. 「地区に関するレポート」内の「寄付&認証」→「地区もしくはクラブの寄付」内の「月次寄付レポート」
4. 「年次基金累計額」が0のクラブ

Rotary		月次寄付レポート		(表示: 米ドル)						
		現時点の結果 7月～6月 (2024-25)								
クラブ ID	クラブ名	会員数	年次基金 目標額	目標達成度 (%)	年次基金 (一人当たり)	年次基金 累計額	ポリオプラス 基金 累計額	その他の基金 累計額	恒久基金 累計額	--合計--

5. 上記のクラブに直接お問い合わせください。
※年度末はレポートの反映には3週間ほどかかるため、すでに年次基金へご寄付いただいている場合があります。また、クラブよりお送りいただいた寄付送金明細書が不完全な場合、時間がかかることがあります。

【2025-26年度 銀行振込によるご寄付について】

2025-26年度の銀行振込によるご寄付は、2026年6月30日(火)までに公益財団法人ロータリー日本財団の口座へ着金し、かつ「[寄付送金明細書](#)」をご提出いただいた分が対象となります。

「[寄付送金明細書](#)」には寄付者のID番号を正確にご記入のうえ、お振り込み当日までにエクセルファイルにて [Eメール](#) でご送付ください。なお、6月30日までにご送金された場合でも、「[寄付送金明細書](#)」の提出が確認できない場合は、当該年度のご寄付として登録できない場合がございます。また、7月1日以降は、6月以前のご寄付に関する訂正をお受けできない場合がございますので、「[寄付送金明細書](#)」は内容を十分にご確認のうえご送付ください。

なお、[My Rotary](#) からのオンライン寄付のご寄付を推奨しております。オンライン寄付をご利用いただくことで、寄付送金明細書のご提出が不要となるほか、銀行振込よりも迅速に My Rotary の各種レポートでご確認いただけます。

何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

〈問い合わせ先〉

日本事務局 経理室 RIJPN.Finance@rotary.org

【台北国際大会での寄付者行事】

ロータリー財団は、寄付者の寛大な支援を称えるため、台北国際大会(2026年6月13日～17日)にてさまざまな[寄付者のための行事](#)を開催します。

寄付者行事は資格のある寄付者が対象で、登録は先着順となりますのであらかじめご了承ください。

2026年ロータリー国際大会のページはこちら

<https://convention.rotary.org/ja-jp/>



ロータリー財団の詳細は[こちら](#)をご覧ください。[アーチ・クランフ・ソサエティ](#)、[メジャードナー](#)、[遺贈友の会](#)についてもご覧ください。

関連記事: 「[美味しい・楽しい・優しい台北に行こう](#)」「[台北の味覚へようこそ:国際大会の合間に…](#)」「[はじめての国際大会を台北で:気軽に楽しむロータリーの世界](#)」「[参加するたびに広がる視野:私の国際大会ストーリー](#)」(ロータリーボイス)

【台北国際での分科会】

<Annual Fund Basics and Beyond>

開催日時:2026年6月15日(月)9:00～10:00

パネリストとして、第1地域ロータリー財団地域コーディネーター 新井和雄様が参加されます。

※日本語の同時通訳あり

詳細は、おって発行されますプログラム冊子をご確認ください。



AGOからのメッセージ

2025-26年度の「クラブのバナー認証」状況を確認しましょう！

ロータリー財団では、寄付の状況に応じてクラブへの感謝を表すための認証もご用意されています。認証を受けたクラブには、バナーや感謝状が贈られます。以下の手順に従って、レポートを確認しましょう。

■ 「クラブのバナー認証レポート」へのアクセス確認手順

1. My ROTARY にログイン <https://my.rotary.org/ja>
2. 「会員・財団に関するレポート」をクリック
3. 「地区に関するレポート」内の「寄付&認証」→「地区もしくはクラブの寄付」内の「クラブのバナー認証レポート」

Rotary CLUB FOUNDATION BANNER REPORT FOR ROTARY YEAR: 2025-26									
Rotary Club of		All Active Rotarians		TRF Giving Rotarians: 96	EREY Rotarians: 96	Sustaining Member Rotarians: 4	PHS Eligible Rotarians: 4	1 July Members: 108	
Existing Active Rotarians		Percent TRF Giving: 100.0%		Percent EREY: 100.0%		Percent Sustaining Members: 4.2%	Percent PHS Eligible: 4.2%	Annual Fund Per Capita: \$105.39	
								Average TRF Giving: \$105.39	
Rotary ID	Rotarian Name	Club Member on 2025/6/30	TRF Giving Achieved	EREY Achieved	Sustaining Member Achieved	PHS Eligible Achieved	Paul Harris Society Member	Rotary Direct	

<100%ロータリー財団寄付クラブ> 認証を受けるための手続き不要

- ① 前年度からの継続会員*全員が25ドル以上寄付し、② かつ一人当たりの平均寄付額が100ドル以上のクラブ

👉 クラブのバナー認証レポートの確認ポイント

- ① Percent TRF Giving→100%以上(下部の会員リストでNEW以外全員にAchievedに達成日があること)
- ② Average TRF Giving→「ロータリー財団への平均寄付額」が100ドル以上

<「Every Rotarian, Every Year」クラブ> 認証を受けるための手続き不要

- ① 前年度からの継続会員*全員が年次基金へ25ドル以上寄付し、② かつ一人当たりの年次基金平均額が100ドル以上のクラブ

👉 クラブのバナー認証レポートの確認ポイント

- ① Percent EREY→100%以上(下部の会員リストでNEW以外全員にAchievedに達成日があること)
- ② Annual Fund Per Capita→「一人当たりの年次基金の額」が100ドル以上

* 前年度からの継続会員 = Existing Active Rotarians / 下部の会員リストでNEW(年度中の新会員)以外の方

その他にもクラブのバナー認証や感謝状があります。詳細は、[手引き](#)P.36～37をご参照ください。

寄付や認証に関する問い合わせ先:

財団室 寄付推進オフィサー(AGO) 近藤 かおり Email: Kaori.Kondo@Rotary.org

【寄付推進スタッフの紹介】

財団のリソースのひとつに、寄付推進スタッフがいます。お気軽にご相談ください。



近藤かおり
寄付推進オフィサー(AGO)
Eメール
Kaori.Kondo@rotary.org

担当: 年次基金およびポール・ハリス・ソサエティ(PHS)を中心とした、財団への寄付推進と、ロータリー財団に関する理解促進。



牧野美希
メジャーギフト・オフィサー(MGO)
Eメール
Miki.Makino@rotary.org

担当: 冠名基金や1万ドルを超える大口寄付(個人・法人)手続き及び地区やクラブにおける大口寄付の推進・寄付者のみなさまへのお礼や各種認証のサポート。

ポリオプラス

【ポリオ根絶ビールにドーナツ募金 . . . ユニークなポリオ根絶活動をご紹介します】



予防接種の最前線から離れた地域においても、ロータリー会員の尽力により、ポリオ根絶への歩みは着実に進んでいます

シカゴ中心街から北に小一時間、ミシガン湖沿いの街エバンストン。その街中にあるバー「Sketchbook Brewing Co.」にビール愛好家たちが集まり、「Snowy Owl(雪白のフクロウ)」、「Secret Stuff(秘密の飲み物)」、「Funkin' for Jamaica(ジャマイカに熱狂)」といった風変わりな名前のビールを味わっています。こうした愛らしいビールの名前もこのバーの魅力の一つですが、先日発売されたビール「Purple Pinkie(紫の小指)」の名称は、単なる気まぐれ以上の大きな意味を持っています。

「Purple Pinkie という名は、ポリオの予防接種を受けた子どもたちに付けられる印に由来しています」と、エバンストン・ヌーヴォー・ロータリークラブの会員であるジュリー・オーブリーさんは話します。彼女が言及しているのは、すでに予防接種を受けたことを示すために子どもの小指に塗られる紫色のインクのことで、世界からこの病気を根絶しようとする歴史的キャンペーンの象徴でもあります。続きは[こちら](#)

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2026年 1月1日～ 5月25日	2025	2024	2023
常在国	パキスタン	3	31	74	6
	アフガニスタン	4	21	25	6
	世界合計	7	52	99	12

リソース

<資料>

[年次基金とシェア](#)

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[年次基金リソース](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHS 入会フォーム](#)

[PHS 認証状テンプレート](#)

[資金モデルの変更について\(2021年7月より有効\)](#)

[DDF の繰越金に関する制限:よくある質問\(FAQ\)](#)

国際財団活動資金(WF)に関するプレゼンテーション

• [パワーポイント](#)

• [動画](#)

恒久基金

[「恒久基金 地区の手引き」](#)

[ロータリーの恒久基金](#)

[恒久基金の財務報告](#)

[END POLIO NOW](#)

[災害救援基金へのご寄付に関する最新情報](#)

[クラブ優秀賞](#)

<DDF の寄贈>

ポリオプラス基金に DDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例: DDF2+WF1+ゲイツ 6=9

※WF からの組み合わせ上限額は500 万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限 5,000 万ドルです。

[DDF オンライン寄贈フォーム](#)

(使用する DDF の年度を、2021 または現年度から選択)

<感謝状>

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDF の20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区には、次年度に感謝状が贈られます。

補助金

【暮らしのそばで受けられるケア】

可搬型の透析装置のおかげで、愛する地元にとどまって治療を受けることが可能に

カナダ・ラブラドル地方のコミュニティ、ナトゥアシシュ(Natuashish)へ行く主な手段は、飛行機と(夏に運行される)船の二つしかありません。人口約1,000人のこの亜北極圏のイヌ(Innu)族のコミュニティと、南にある比較的人口の多い町とを結ぶ整備された道路がないためです。しかも、交通機関は頻繁に遅延し、航空券の価格も高いため、移動そのものが大きな負担となっています。

こうした事情は、特定の医療ケアを必要とする住民にとっては深刻な問題です。腎臓の代わりに血液をきれいにするために欠かせない人工透析も、その一つです。続きは[こちら](#)

【ジェンダーに基づくデジタル暴力防止 in 台湾】

デジタル時代の子どもを守るグローバル補助金プロジェクト

寄稿者: ジョセフィン・ウォンさん(台湾、台北芙蓉ロータリークラブ会員[RI 第3418地区])

台湾ではいま、静かではあるものの深刻な暴力が、画面やスマートフォンを通じて広がっています。ネット上での子どもを標的とした虐待を含め、ジェンダーに基づくデジタル暴力は近年急増しており、保護、啓発、支援の面で大きな課題が浮き彫りになっています。台湾のネット掲示板「創意私房」で児童の画像が流通されていた事件は、象徴的な事例の一つであり、多くの子どもたちがオンライン上で直面している危険に社会の目を向けさせました。

統計はその深刻さを示しています。2021年には、ジェンダーに基づくデジタル暴力のケース約300件が扱われ、そのうち約70%の被害者は18歳未満でした。2022年には、衛生福利部が子ども若者に対する性搾取1,032件を記録し、その約85%は未成年の性的なプライベート画像の撮影・制作を伴うものでした。

一方で、デジタルな生活は、台湾の子どもたちにとって切り離せないものとなっています。児童福利連盟が2022年に行った調査によると、8割以上の子どもがMessenger、Instagram、Facebook、LINEなどのSNSを日常的に利用しています。多くの子どもがネット上の相手から「特別なお願い」を受けたと答え、その中にはプライベートな写真や裸の画像を送るよう求められたケースも含まれていました。続きは[こちら](#)

リソース

[＜補助金関連ウェブページ＞](#)

[ロータリーの補助金](#)

[補助金の申請](#)

[補助金センター](#)

[補助金による旅行](#)

[参加資格の認定](#)

[奉仕プロジェクトセンター](#)

[プロジェクトフェア](#)

[＜補助金の基本情報＞](#)

[補助金のプレゼンテーション](#)

[変化をもたらそう: ロータリーの補助金](#)

[補助金に関する各リーダーの責務](#)

[DRFC 補助金ハンドブック](#)

[地域調査の実施](#)

[インパクトハンドブック](#)

[グローバル補助金ガイド](#)

[重点分野の基本方針](#)

[ローターアクトクラブによる補助金](#)

[利用-よくある質問](#)

[補助金担当職員一覧](#)

[補助金レポートの利用方法](#)

授与と受諾の条件

- [地区補助金用](#)

- [グローバル補助金用](#)

参加資格認定

- [地区の覚書\(MOU\)](#)

- [クラブの覚書\(MOU\)](#)

[＜補助金を申請する＞](#)

[補助金センターのご利用ガイド](#)

[補助金センターのご利用ガイド奨学生](#)

[グローバル補助金 計算表](#)

[グローバル補助金申請書のテンプレート](#)

[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)

[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

[地域社会調査の結果フォーム](#)

[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

[＜ロータリー平和センターと奨学金＞](#)

[ロータリー平和フェローシップ](#)

[平和フェローシップ会員の役割](#)

[平和フェローシップの申請](#)

[プレゼンテーション \(PPT\)](#)

[奨学金の提供](#)

[ロータリーの学友](#)

【地区の参加資格認定手続き】

地区がロータリー財団の補助金を申請するには、まず参加資格の認定を受ける必要があります。この認定手続きを通じて、財務管理面での義務について理解し、これを適切に果たすための準備を整えます。認定手続きは毎年行う必要があります。参考: My ROTARY「[参加資格の認定](#)」

<補助金センターでの手続き>

- 手続きが必要な方: 2026-27 年度のガバナーエレクト(現ガバナーノミニー)、2026-27 年度から新しく地区ロータリー財団委員長(DRFC)になる方。
- 手順
 1. [My ROTARY](#) にログインし、画面をスクロールダウンして「補助金センター」をクリック
 2. 「地区の参加資格認定」をクリック
 3. 「現地区役員」欄の右上にある「開始」ボタンをクリックして、お進みください。

この画面では、手続きの完了状況を確認できます。「MOU 状況」は補助金センターでの MOU の同意手続き、「コース状況」はラーニングコースの修了状況(DRFC 対象)を表示しています。

なお、同じ画面にある「次期地区役員」のDRFC欄は、新任の方のみ表示されるため、今年度から継続して DRFC の方は表示されません。「現地区役員」欄に正しく任期が表示されていれば問題ありません。

<DRFC 対象: ラーニングコースの修了>

地区ロータリー財団委員長(DRFC)は、ラーニングセンターで三つの学習プランを修了することが義務付けられていることにご留意ください。DRFCがコースを修了するまでは、地区はロータリー補助金を受領する資格がありません。(My ROTARY のログインが必要)

- [地区リーダーの基本](#)
- [地区ロータリー財団委員会の基本](#)
- [補助金管理セミナー](#)

【グローバル補助金 年度末の留意点】

<申請>

グローバル補助金は随時申請可能で、旅行を伴う場合は渡航の90日前までに申請書を提出します。なお、8~10月に留学を開始する奨学金プロジェクトの場合、6月30日を過ぎて提出された申請書は審査されませんのでご注意ください。

<審査>

申請書の審査は、提出後随時行われますが、5~8月は申請が多いため、時間がかかる場合もございます。申請書に記載された、ホスト(実施国側)・インターナショナル(援助国側)のどちらかのスポンサーが代表となっている別のプロジェクトの報告書の提出期限が過ぎている場合、報告書が提出されるまで審査は保留となりますのでご注意ください。口座情報の提出は、承認条件となるため、提出が遅れると承認の遅れにつながりますので予めご準備ください。

<報告>

承認済みのグローバル補助金プロジェクトがあるクラブや地区は、報告書期限を過ぎないようにお手続きください。特に奨学金では、報告の遅れが新たな奨学金申請の承認や支払いの遅れを引き起こすことが大変多いため、報告期限と手続き方法をご確認ください。

報告期限

- ・支払いまたは前の申請書の受理から1年以内または完了から2か月以内の早いほうです。
- ・資金を使い切っていれば、学業の修了や帰国前に最終報告書をご提出いただけます。

報告手続き

- ・代表連絡担当者または奨学生本人が開始できます。
- ・報告書の種類(中間・最終)の変更は会員にて行ってください。
- ・会員の報告書画面で参加者の奨学生部分が未承認となっている場合は、奨学生に入力完了後、確認のチェックを付けて提出をクリックするようにご案内ください。
- ・ホスト・インターナショナル両スポンサーによる奨学生の活動の報告や資金管理、残金の有無などの入力、クラブまたは地区の銀行取引明細(通帳の写しで OK)のアップロード(添付)も必要です。
- ・すべての入力が完了しましたら、代表連絡担当者とスポンサーの代表(クラブプロジェクトの場合は現クラブ会長)の承認が必要です。承認段階に進んでから、補助金センターが開けないことがないようにご準備ください。開けない場合は <data@rotary.org> にメールでご相談ください。

<補助金受領口座>

補助金受領口座及びその署名人は、申請書提出後、受領する側のスポンサーが入力・提出します。口座の条件は[授与と受諾の条件](#)をご参照ください。

また、支払いを正確に行うため、「口座名義とカタカナ表記が確認できる資料(通帳の写しなど)」のアップロード、口座名義のローマ字表記のご提出をお願いいたします。支払いは、それらの確認ができてからとなります。

<リソース>

申請書や報告書の作成、承認、口座情報の提出など、オンライン(補助金センター)での手続方法は、「[補助金センターのご利用ガイド](#)」をご参照ください。奨学生用の「[補助金センターのご利用ガイド:グローバル補助金 奨学生](#)」もごございます。[補助金センター](#)の「補助金に関するリソース」には、ほかにも参考となる資料がまとまっていますのでご活用ください。

【2026年度大規模プログラム補助金の受領者と最終選考に残ったプログラム】

ロータリー財団は、[ハイチにおける持続可能な水・衛生システムのための協力](#)に対し、2026 年 [大規模プログラム補助金](#) を授与することを発表しました。このプログラムは、人々が水や衛生設備を利用できるようにし、これらのサービスへの需要を高め、地域の水システム管理を強化することで、ハイチの三つの自治体で生活環境を改善し、水系感染症の発生率を 25%削減することを目的としています。

最終選考に残った二つのプログラム:

- [Home Management of Malaria in Papua New Guinea\(パプアニューギニアにおけるマラリアの在宅管理\)](#) は、マラリアに対応する地域ボランティア 2,100 人を養成することでマラリア感染者数を減らし、50 万人の健康状態を改善することを目的としています。これにより、パプアニューギニアの 1,000 以上の村で、ボランティアが各家庭を訪問して診断や治療を行うことが可能になります。
- [Empowering Highland Communities in Thailand\(タイにおける高地コミュニティのエンパワメント\)](#) は、コーヒー栽培、家畜生産、伝統工芸を中心としたコミュニティベースの事業を強化し、コミュニティ所有の水・衛生設備を確立することで、高地住民の住む 126 の村を変革することを目指しています。

【グローバル補助金申請書類の改訂予定】

グローバル補助金申請書を含むいくつかの関連書類の改訂作業を行っております(地域社会調査の結果の提出、研修計画の説明、協力団体との協力方法を記載するためのフォーム)。この改訂は、財団が必要な情報を入手し、申請者に迅速に対応できるようにすることを目的としています。改訂版は、7 月 1 日から利用可能となります。

【プロジェクトの標識】

奉仕プロジェクトや奨学金にロータリー財団の補助金が活用されたことを明記しましょう。表示の際は、こちらのガイドにある[テンプレート](#)をご利用いただけます(資料は 2026 年 3 月に更新されています)。

プロジェクトの名称に「Rotary」「ロータリー」という名称のみを使うことはできません。こうしてしまうと、プロジェクトが国際ロータリーのものであるかのような誤解を生じる可能性があるためです。名称やロゴの使用については、[ブランドリソースセンター](#)からロータリーのブランドの指針をご参照のうえ、スポンサークラブや地区を明記してください。

プロジェクトにロータリー財団の資金が使われたことを明記することは、地元でロータリーがどのような活動をしているかを紹介するよい機会となります。さらに、活動を示すことは、入会候補者や参加者の基盤を広げることにつながるほか、会員や寄付者に、寄付がどのように使われているかを伝える重要な情報となります。

【地区補助金 報告書】

補助金センターから報告書を編集／提出できるのは、2025-26 年度のガバナー／地区ロータリー財団委員長(DRFC)／補助金委員長の 3 名です。手続きの流れや実際の画面の様子は、「[補助金センターのご利用ガイド](#)」p.39～をご参照ください。(7 月 1 日以降は、2026-27 年度のガバナー／地区ロータリー財団委員長(DRFC)／補助金委員長へ編集権限が移動します。)

< 報告書画面 >

報告書の「実際の使用額」欄に、使用した地区補助金の金額を半角数字でご入力ください。

実際の使用
以下の各活動について、使用した金額を入力してください。資金を使用しなかった場合、空白にするか「0」と入力してください。

#	地区またはクラブ	活動またはプロジェクトの種類	活動の実施地	計画された使用額	実際の使用額
1		地域社会の発展 (ボラン...	Japan (日本)	930	
2		食糧／農業 (一般)	Japan (日本)	1,505	1505
3		地域社会の発展 (ボラン...	Japan (日本)	564	
4		教育 (一般)	Japan (日本)	1,806	

ロータリー財団から地区へ、地区補助金が支払われた当時の RI レート にて、実際の使用額(円)をドル金額に計算して、ご入力ください。

提出せずに報告書画面を閉じる際は、「保存して閉じる」または「閉じる」から閉じてください。インターネットのウィンドウをそのまま閉じてしまうと、正常に閉じられない場合があります。

< 返金がある場合 >

地区内でご返金分を取りまとめて、地区からロータリー財団へまとめてご返金いただく流れとなります。各クラブ・各プロジェクトから個別にロータリー財団へ返金するのではなく、また、地区補助金ご返金分を年次基金やポリオプラス等への寄付に充てることはできないことにご注意ください。

返金がある地区は、財団室(RIJPNTRF@rotary.org)までお知らせください。返金先口座と返金用の書類をお送りいたします。

- 1,000 ドルを超える返金：地区の DDF へ加算されます。
- 1,000 ドル以下の返金：国際財団活動資金(WF)に充当されます。

参考： [ロータリー財団地区補助金 授与と受諾の条件「8. 報告要件」](#)

【2026-27年度 地区補助金の申請書】

地区補助金申請書の作成開始・編集ができるのは、2026-27 年度の、ガバナー・地区ロータリー財団委員長(DRFC)・補助金委員長です。一度作成を開始すると、補助金番号が自動的に付与され、次のアクセス以降は、補助金センターの「私の補助金」ページにある「作成中」欄に表示されるようになります。

※次年度も、本年度と同じ方が補助金委員長を継続して務める場合、システムの都合上 2026-27 年度が始まるまで、その補助金委員長は申請書の開始・編集ができません。ご不便をおかけし大変恐れ入りますが、2026-27 年度の地区ガバナー、地区ロータリー財団委員長(DRFC)にもご協力いただき、申請書の編集作業を進めていただけますと幸いです。

< 申請書の開始・編集方法 >

[補助金センターのご利用ガイド](#) p.31～

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付・ご誓約)

大きなご支援を
誠にありがとうございました。
地区・クラブでも感謝の機会をお創りください。

2026 年 4 月 21 日～5 月 18 日 確認分 (敬称略、寄付・誓約日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2650	京都	千 宗室	2550	宇都宮 90	飯村 慎一
2740	大村	石坂 和彦	計 3 件		

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

<ロゴ>

[ブランドリソースセンター](#)

[ロゴのテンプレート、クイックガイド](#)

[「END POLIO NOW」のロゴ](#)

[ラーニングセンター](#)の「公共イメージ」

のコース内の、ロータリーのロゴやブランドのコースもご活用ください。

[クラブ推進の強い味方:ブランドリソースセンター](#)

[クラブで SNS を活用するヒント](#)

[今後の予定](#)

6月13日 ～17日	国際大会 (台湾、台北)
6月30日	グローバル補助金奨 学金申請期限 (8 月、9 月、10 月 に留学開始の場合)

国際ロータリー日本事務局財団室

〒108-0073

東京都港区三田 1-4-28

三田国際ビル 24 階

Email: RIJPNTRF@rotary.org

Tel: 03-5439-5805

Fax: 03-5439-0405

ロータリー財団 2025-26年度 4月末 地区別寄付報告 (単位:米ドル)

地区	会員数	一人当り 年次基金	年次基金	ポリオプラス	恒久基金	その他の基金	合計寄付額	前年度 同月比
2500	2,192	75.83	166,228.70	50,181.25	2,025.64	35,070.00	253,505.59	108%
2510	2,213	98.71	218,442.95	30,721.44	1,760.84	178.30	251,103.53	87%
2520	1,946	60.72	118,165.85	74,046.18	105,775.13	627.56	298,614.72	134%
2530	2,093	62.30	130,388.44	37,889.88	10,353.68	7,596.35	186,228.35	88%
2540	1,132	58.13	65,804.19	7,941.85	1,050.00		74,796.04	111%
2550	1,523	131.55	200,348.42	43,191.64	105,134.48	2,100.00	350,774.54	81%
2560	1,971	96.94	191,061.21	46,006.37	1,000.00		238,067.58	95%
2570	1,518	129.79	197,022.88	60,905.97	45,613.30	3,150.00	306,692.15	59%
2580	3,010	138.46	416,756.59	108,083.18	85,192.72	17,018.91	627,051.40	95%
2590	1,755	149.48	262,334.94	47,777.60	47,473.90	1,050.00	358,636.44	91%
2600	1,734	108.20	187,618.57	43,690.94	4,617.90	65.58	235,992.99	90%
2610	2,439	89.71	218,791.04	33,844.09	987.63		253,622.76	109%
2620	2,771	116.98	324,148.57	68,363.48	23,857.32	20,453.66	436,823.03	100%
2630	3,025	109.72	331,913.81	51,052.21	38,395.28	3,679.87	425,041.17	94%
2640	1,453	92.16	133,905.35	105,932.71	2,257.11	6,133.17	248,228.34	112%
2650	4,136	156.48	647,208.62	109,054.89	59,120.53	6,962.88	822,346.92	106%
2660	3,359	171.88	577,350.65	211,976.23	202,641.97	28,900.22	1,020,869.07	119%
2670	2,694	77.67	209,254.10	35,197.36	13,064.46	164.30	257,680.22	71%
2680	2,396	93.21	223,335.76	80,956.82	29,493.51		333,786.09	103%
2690	2,840	109.94	312,237.69	82,833.87	6,229.25	2,436.04	403,736.85	94%
2700	3,082	73.04	225,101.54	54,352.65	1,407.58	10,913.10	291,774.87	103%
2710	3,047	133.17	405,765.83	82,038.72	30,747.65		518,552.20	94%
2720	2,227	101.46	225,951.17	50,026.95	47,544.97	17,706.57	341,229.66	113%
2730	2,257	55.09	124,342.23	18,243.21	24,565.96	4,287.70	171,439.10	139%
2740	2,001	49.03	98,111.74	23,032.11	15,000.00		136,143.85	81%
2750	4,452	152.24	677,790.53	175,969.52	234,811.50	22,315.00	1,110,886.55	108%
2760	4,516	158.50	715,769.63	228,668.60	43,430.44	4,643.51	992,512.18	112%
2770	2,139	168.79	361,037.30	99,126.20	66,958.85	1,036.39	528,158.74	95%
2780	2,319	145.18	336,662.35	81,309.53	145,424.76	8,830.28	572,226.92	111%
2790	2,665	149.88	399,439.15	68,024.53	20,186.00	47,338.47	534,988.15	98%
2800	1,447	73.32	106,092.17	32,037.37	6,797.17		144,926.71	111%
2820	1,840	155.48	286,083.71	66,277.61	33,152.79		385,514.11	94%
2830	1,093	61.73	67,471.78	15,545.27	786.62		83,803.67	67%
2840	1,998	97.38	194,557.68	50,108.53	6,252.31	33.17	250,951.69	95%
日本	81,283	115.11	9,356,495.14	2,374,408.76	1,463,111.25	252,691.03	13,446,706.18	99%
世界	1,124,681	91.24	102,614,694.74	29,033,739.90	52,712,065.91	34,520,924.48	218,881,425.03	
日本の 割合	7.23%	-	9.12%	8.18%	2.78%	0.73%	6.14%	

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。ロータリーの事業目的以外でお名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等はできません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。